

PBT

ポリブチレンテレフタレート

(Polybutylene Terephthalate)

別名	略称PBT PTMT(ポリテトラメチレンテレフタレート)		
概要	昭和45年にセラニーズ、GE によって米国で上市されたPBT樹脂は直ちにわが国でも輸入販売されるとともに、国産メーカーも7 社が名乗りを上げ、第1 次石油ショック後の不況が終わった頃から急激に成長した。耐熱性、難燃性、寸法安定性など諸特性と価格のバランスがとれていることからコネクタなどの電気・電子用途を中心に需要をもっているが、自動車、押出など用途が広がっている。		
原料	ジメチルテレフタレートまたは高純度テレフタル酸 1,4-ブタンジオール		
製法	ジメチルテレフタレートまたは高純度テレフタル酸と、1,4 -ブタンジオールを反応させてビスヒドロキシジメチルテレフタレートを作り、これを高温(240 ~ 250℃)、高真空(<1mmHg) で重縮合反応を行わせ、所定の重合度になったところで、熔融状態で釜から取り出す。		
荷姿	ペレット状=紙袋(25kg入り)		
規格	JIS K6928-1-02(ISO 7792-1-97)、JIS K6928-2-02(ISO 7792-2-97)		
性状	PBTの分子鎖の形は、太い短い鎖と、細いやや長い鎖がエステル結合でつながっていて、部分的に束になる性質を有するため、その成形品は剛性に優れ、摩耗が少なく、比較的高い温度まで使用できるなどの特徴を持つ。ガラス繊維との複合効果が優れており、剛性の向上が容易である。また電気特性においても優れており、温度変化や湿度変化に対しても比較的变化が少なく、特に高温における電氣的性質が優れている。		
成形加工法	射出成形	①シリンダー温度 = 230~ 270℃	②射出圧力 = 30~ 100 MPa ③金型温度 = 40~ 120℃
用途	電気 (コイルボビン、コネクタ、スイッチ、抵抗器部品、ソケット、リレー、コンデンサケース) 自動車 (エアアウトレットガバナリッシュ、フードベント、ディストリビューターキャップ、排ガスコントロールバルブ) 機械 (ギヤ、カム) 時計 (地板) カメラ (底蓋、鏡胴、レバー) レジャー (リール)		
製造・販売業者	インターテック ウインテックポリマー SABICジャパン デュポン 東洋紡 東レ	パナソニック BASFジャパン 三菱エンジニアリングプラスチックス ランクセス セラニーズジャパン テラボウ	
備考	既存化学物質 輸出(入)統計品番号	(7)-705 (7)-1021 (7)-1039 3907.99(3907.99)	CAS No. 26062-94-2